

地域の通信

わ

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

みんなの居場所 わいわい

主催：NPO 法人かみはし・はまっこの会
 協力：神奈川県社会福祉協議会
 六角橋地区社会福祉協議会



六角橋のみんなの居場所です。

わいわいガヤガヤやりながら、地域の顔見知りとその大きな輪(わ)を作りましょう。ひとりでも誰かと一緒でも大丈夫です。

勉強でちょっと困ったことがあったら、ぜひ来てみてください。元先生のスタッフが優しく教えてくれます。

誰かと話したいと思ったらぜひ来てみてください。話好きなスタッフとおしゃべりしましょう。

(「みんなの居場所わいわい」案内文からの引用)

はじまりは地域の子どもを思う気持ちから



六角橋商店街の中ほどにあるビルの2階に「みんなの居場所わいわい」はある。主催している「NPO 法人かみはし・はまっ子の会」の代表である森さんが、地域のために役立てたいという思いから自宅ビルの2階を居場所として開放している。

きっかけは、森さんが六角橋地区の主任児童委員を15年続けた経験と、神橋小学校の放課後キッズクラブの運営を通して「子どもたちが直接地域の方と触れ合い、地域の高齢者も含めた多世代が交流できる場を作りたい」という思いから、平成30年9月に地区社協と区社協が協力してスタートした。

毎月2回、月の最初と最後の日曜日の午前中に開催し、地域のボランティアと一緒にボードゲームやおしゃべりをしながら過ごすことができる。



代表の森さん

勉強もやさしく教えてもらえる居場所！



写真下左
中学生に英語を教えるボランティア先生の熊野さん
写真下右
(右)
ボランティア先生の久々宮さん
(左)
ボランティアスタッフである民生委員の天野さん

【みんなの居場所 わいわい】

日 時：毎月はじめと終わりの日曜日

9時～12時（時間内出入り自由）

場 所：ろ・か・はまっこプラザ2F

参加料：無料

対 象：六角橋地域・神橋小学校区の子どもたち

「みんなの居場所わいわい」では、元教師のボランティアから勉強も教えてもらえる。居場所は8畳ほどのスペースだが、毎回4～5人の子どもが参加している。「今年から小学生も英語教育がスタートします。英語を学ぶには環境が大事です。ここで英語に触れる時間を作れたら嬉しい」と元塾講師でボランティア先生として英語を教えている熊野さんは言う。

活動資金は、区社協のふれあい助成金を利用し、イベントではロータリークラブからの寄付金を活用している。

オープンして1年半になり、課題も見えてきたようだ。「利用する子どもが固定されてなかなか広がらないのが悩みです。今は子ども中心の居場所として運営していますが、地域の方にも気軽に来ていただく工夫をしていきたいです」と代表の森さん。これからの抱負については、「この居場所を一緒に作ってくれる担い手を探したい」と地域の新たな担い手づくりに意欲を持つ。また「せっかくここに居場所ができたので、開催日程の検討やお茶の提供などの工夫をして、みんながわいわいできる居場所になるようにしたいです」と、森さんは思いを新たに明るく話した。